

シスコ IT による基幹オーダー管理システムの移行 HP Superdome から Cisco UCS へ

ビジネス上の利点

- 資本コストを 75%以上節減。
- 旧システムの 2 倍の処理が可能
- Oracle アプリケーションのパフォーマンスを改善
- データセンターのファイル利用を 80%削減
- 電力消費を旧システムの半分未満に節減

「Cisco UCS への移行は画期的なことでした。パフォーマンスの向上、TCO(総保有コスト)の低減が実現し、極めてスムーズに移行することができました」

– Jag Kahlon, IT Architect, Cisco

Cisco UCS プラットフォームへの移行で、TCO の低減、ビジネスの俊敏性、弾力性の強化を実現

多様化するビジネスニーズ、市場機会、ビジネスデマンドに対応するため、シスコの Global Data Center 戦略はキャパシティの最適化と弾力性の強化にフォーカスし、シスコ IT は社内のサービスプロバイダへと生まれ変わっていきます。この戦略により、全てのアプリケーション、ネットワーク、コンピューティング、ストレージを Cisco Unified Computing System™ (Cisco UCS) と Cisco Nexus® シリーズスイッチを基本とするプライベートクラウドへ移行する計画が進められています。

プライベートクラウド化を推進するため、シスコ IT は Oracle と SAP のアプリケーションとデータベースを、HP-UX プラットフォームから Cisco UCS へ移行する計画を体系的に進めています。移行前、シスコ IT は 米国と欧州に合わせて約200

台の HP Superdome サーバとミッドレンジクラスの HP-UX サーバを保有し、Oracle Real Application Cluster (RAC) と Oracle eBusiness Suite をホスティングしていました。2011年1月、シスコ IT は、仮想マシンで稼働するすべてのビジネスアプリケーションの、既存ハードウェアから Cisco UCS への移行を完了しました。

シスコの収益の100% が Quote to Cash システムで処理されています。 2011年3月11日、シスコ IT は、Quote to Cash システムを Cisco UCS に移行しました。シスコの基幹オーダー管理システムである Quote to Cash は、年間400億USDルを超える収益をサポートする、コアなアプリケーションセットです。

シスコ IT は、Quote to Cash に Order Management and Accounts Receivables (OMAR) モジュールの Oracle E-Business Suite 11i を用いています。このOracle の オーダー管理アプリケーションが、お客様の注文に応じた価格決定や製品構成など、シスコのオーダー処理の開始から完了まで、全てのプロセスをサポートしています。オーダーが完了し製品が出荷された後、Oracle の Accounts Receivable(売掛管理)アプリケーションがディスカウント、請求、税務管理を処理します。9TB 規模と7TB 規模の二つのデータベースが各アプリケーションをサポートし、2,400 以上のユーザを同時処理することができます。

Quote to Cash システム強化のため、HP Superdome サーバを Cisco UCS B440 サーバに移行しました。 表1に、HP Superdome から Cisco UCS への移行前後の本番システムの比較を示します。新システムでは、旧 HP システムに比べ2倍の処理をこなすことができ、コストを加算しなくても改善を期待することができます。Cisco UCS プラットフォームでは旧システムに比べ、水平方向のスケラビリティを実現するための時間とコストを大幅に節減することができます。また、アプリケーションを上位の階層のデータセンターに移行することにより弾力性を強化し、オペレーションの継続を確保することができました。

表 1 移行前後の Quote to Cash 本番システムの詳細

	Source (HP)	Target (Cisco UCS)
本番サーバの構成	HP PA-RISC Superdome 2台 2 HP RP8420 2台	Cisco UCS B440 4台
OS	HP UX Version 11.11	Red Hat Enterprise Linux Version 5.5
CPU コア数	144 コア	128 コア
メモリ	288GB	1024GB
パフォーマンス	現状の作業負荷に対応	現状の200%の処理が可能
Oracle RAC のバージョン	9i	10g

データセンターのスペース、電力、冷却エネルギーの節減に取り組んでいます。表2に、米国と米国以外の Quote to Cash 環境で、本番、開発、ステージ、災害復旧、バックアップをサポートする全サーバの比較を示します。HP Superdome システムを Cisco UCS に移行することにより、占有スペースを1/6以下、電力を65%以下に抑え、ケーブル本数を約 40% 減らすことができました。さらに、x86 プラットフォームに移行し CPU コア数を減らすことにより、Oracle のライセンスコストを35%に抑えることができました。x86 システムの導入により、ハードウェアとソフトウェアのサポートとメンテナンスに要するコストを削減することもできました。

表 2 データセンターでの利用詳細(サポート用サーバなど)

	Source (HP)	Target (Cisco UCS)
サポート用サーバの構成	HP Superdome と ミッドレンジクラスの HP-UXサーバ 合計12台	Cisco UCS サーバ (B440, B200, C210) 合計15台
ケーブル本数	136本	82本
占有スペース	12ラック	2ラック以下
電力消費量	約50キロワット	約18キロワット

プラットフォーム移行のために、アプリケーションに変更を加える必要はありませんでした。パフォーマンスの改善により、エンドユーザエクスペリエンスも向上しました。

弾力性の強化が実現しました。 Oracle RAC は、水平方向のスケラビリティ環境において高度な可用性を実現します。ブレードが落ちた場合、Cisco UCS Manager サービスを利用して別のブレードを要求すれば、シスコ IT がすぐに代替サーバを用意します。このサービスにより、RAC クラスタを元の状態に復元する処理を、旧システムのときよりも格段に速く行うことができます。

Cisco UCS への移行プロセスが進行中です。 Oracle 環境と SAP 環境の HP Superdome からCisco UCS への移行の詳細については、Cisco on Cisco ウェブサイトのこちらのケーススタディをご覧ください。

http://www.cisco.com/web/JP/ciscoitwork/doc/dc_strategy_hp_prez_1105.pdf

シスコ IT は、今後の基準となる UCS プラットフォームへ、全てのアプリケーションを移行するプロセスを進めています。現在、次の基幹システムの移行が完了しています：

- Cisco.com
- Lead to Order

- Territory Definition and Sales Commission System
- Partner CRM
- Manufacturing Supply Chain Portal
- Cisco University
- Human Resources Support Center
- Web Analytics
- Cisco MarketPlace
- Sharepoint
- Kinaxis – Supply Chain Management
- Large Deal Management application
- Oracle Identity Management
- Customer Registry

詳しい情報はこちら

このケーススタディの全文や、様々なビジネスソリューションに対するシスコ IT の取り組みについては、シスコ IT 内の Cisco on Cisco ウェブサイトからご覧になれます。www.cisco.co.jp/go/ciscoit

付記

この文書に記載されている事例は、シスコが自社製品の展開によって得たものであり、この結果には様々な要因が関連していると考えられるため、同様の結果を別の事例で得られることを保証するものではありません。

この文書は、明示、黙示に関わらず、商品性の保証や特定用途への適合性を含む、いかなる保証をも与えるものではありません。

司法権によっては、明示、黙示に関わらず上記免責を認めない場合があります。その場合、この免責事項は適用されないことがあります。

©2011 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先: シスコ コンタクトセンター

0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS 含む)

電話受付時間: 平日10:00~12:00、13:00~17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>

お問い合わせ先